

# 大型ハコモノ建設の一方、市民への負担増は許されません！ 使用料・手数料一斉値上げで 1 億4000万円の負担増

民間施行の桜町再開発事業に市民の税金を450億円もつぎ込み、MICE施設・熊本城ホールがオープンしようとしています。市政史上最大の「ハコモノ」建設をすすめる一方で、9月議会には使用料・手数料の一斉値上げが提案され、市民への1億4000万円もの負担増が押し付けられようとしています。

## 【内容とそれぞれの影響額】

(施設・内容)	(改定内容)	施行日	2020年度影響額
富含・天明・火の君・植木文化ホールのホール・冷暖房使用料	富含・10,500円⇒11,500円 天明・10,000円⇒11,000円 火の君 15,500円⇒17,000円 植木・14,700円⇒16,100円	2020年4/1	200万円
五福小プール	一般 1人2時間 260円⇒330円	同上	20万円
すこやか交流広場農園	1区画(年) 1,000円⇒1,500円	同上	10万円
三山荘使用料 東部交流センター体育館	300円⇒400円 バトミントン(一般1時間) 460円⇒570円	同上	100万円
動植物園	大人入園料 300円⇒500円 (小中学生・幼児は改定なし)	同上	6,000万円
アクアドーム	プール(一般1時間) 500円⇒620円 トレーニングルーム(1人1時間) 400円⇒500円	同上	400万円

南部スポーツ・体育館・グラウンド	テニスコート(一般1面1時間) 350円⇒440円 体育館・バトミントン(一般1面1時間) 460円⇒570円 グラウンド(全面1時間) 500円⇒620円	2020年4/1	2,400万円
総合体育館	バスケット・ハンドボール (一般1面1時間) 1260円⇒1570円 バトミントン(一般1面1時間) 460円⇒570円 プール(一般1人2時間) 260円⇒330円 トレーニング室(1人2時間) 300円⇒380円	同上	1200万円
住民票・戸籍等	印鑑証明・住民票・戸籍等写 300円⇒400円 *マイナンバーカードの自動交付 250円⇒200円	2020年7/1	2400万円
課税証明	納税証明・課税台帳記載証明 300円⇒400円 *マイナンバーカードの自動交付 250円⇒200円	同上	1200万円
毒物劇物販売登録	登録申請 14,700円⇒15,000円 更新 6,400円⇒6,500円	2020年4/1	10万円

\*マイナンバーによる自動交付は、2020年1月1日から

## 【控室から】 年金への不安

上野 みえこ



8月27日、厚生労働省社会保障審議会年金部会が公的年金の収支や給付見通しを示す「財政検証」を公表しました。出生率・平均寿命・物価や賃金の予測なども踏まえて、年金の今後100年間の見通しを示すものですが、経済が成長しても、少なくとも、給付の水準は大きく落ち込み、約30年後には、基礎年金が3割も減るといふ見通し、しかも低い水準の基礎年金(国民年金)に影響が大きい、低年金者ほど打撃だということです。本当にひどい話です。

「マクロ経済スライド」の弊害で20年先には年間7兆円もの削減となる現行年金制度、今でも厳しい年金生活者の暮らしをさらに追い詰めるばかりか、年金への不安はますます増大、制度への不信が大きくなっていくことでしょう。

しかも、5年に一度行われるこの財政検証、前回の5年前は6月初めに公表されていましたが、今回は大きくずれ込んで8月末でした。参院選前はひたすら隠して、選挙後に公表というのは、国民をだますようなものです。

日本共産党が訴えてきた「マクロ経済スライドを廃止して、減らない年金への改革」、その実現がいつそう大切になってきています。

## 日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階  
発行：日本共産党熊本市議団  
上野みえこ なすまどか

NO. 1153  
2019年9月1日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
HP：共産党 熊本市議団



検索



# 本庁舎の建替えは必要か？ 専門家の意見も分かれています

市議会・庁舎整備に関する特別委員会では、8月2日と8月23日の2回にわたって参考人より意見聴取を行いました。それぞれに構造建築士として第1線で仕事をされてきた参考人・斎藤幸雄氏と高橋治氏の意見は分かれています。

## 大地震による「杭」の損傷は？

(斎藤幸雄氏)

熊本市役所本庁舎は、直径2mの大口径場所打ちコンクリート杭が使用されており、損傷は考えられない。安井設計の調査報告書の損傷した杭写真は、PHC杭の被害写真である。

(高橋治氏)

多数の大口径杭が使用されていることが直ちに安全と言えるものではない。大口径の場所打ちコンクリート杭であっても、過去には杭被害も報告されている。

## 「熊本地震で被害がなかった」ことに対する検討

(斎藤幸雄氏)

本庁舎直下は直径2mの大口径杭が多数使用され、その断面積は他の建築物では例を見ない、この効果を検討すべき。また、本庁舎の地下外周は厚さ60cmの鉄筋コンクリート壁が地表から深さ19mまで構築されており、そのため震度6強の熊本地震でも被害がなかった。この点を踏まえ検討すべき。

(高橋治氏)

過去に発生した地震（熊本地震）に対して損傷がなかったことが、将来的なリスクを回避したことにはならない。

## 「熊本市庁舎建替えを考える」学習会のご案内

9月10日(火)午後2時より

中央公民館(中央区草葉町5番1号)

(主催) 熊本市民連

\*参加無料・どなたでも参加できます

## 現庁舎は耐震性能を満たしているか？

(斎藤幸雄氏)

現庁舎は原設計時から熊本地震波や告示波と同等の大きさを考慮して設計されており、現行基準においても耐震性能を満たしている。補強の必要はない。

(高橋治氏)

防災拠点として在るためには、より頻度の低い大地震を想定することなどが必要であり、現在の本庁舎は現行法の耐震性能の基準を満たしていない。

## 意見の分かれる問題で、「建替えしかない」の説明は不適切

熊本市は、今年6～8月に17カ所で「本庁舎建替え問題」の市民説明会を行ってきました。

しかし、その内容は「現庁舎は耐震性能を満たしていない」「耐震補強は難しいので、建て

替えしかない」というものです。

特別委員会の意見聴取でも専門家の意見は分かれており、「建て替えしかない」という一方の考えのみで説明を行うべきではありません。

(斎藤幸雄氏)

1967 京都大学工学部建築学科卒業  
1969 京都大学大学院工学研究科修士課程修了  
1969～2003 (株)日建設計  
2003～2011 広島国際大学工学部教授  
2011～現在 斎藤建築構造研究室  
1996～2019・3月三重大学非常勤講師  
2007 京都大学防災研究所非常勤講師  
2011～現在 京都女子大学非常勤講師

\*日本建築構造技術者協会(元理事・名誉構造士)、日本建築学会(終身正会員)構造計算適合性判定員(2014年まで)構造設計1級建築士

(高橋治氏)

1989 東京理科大学工学部建築学科卒業  
1991 東京理科大学工学研究科建築学専攻終了  
1991～2015 (株)構造計画研究所  
2006 東京理科大学工学研究科工学博士課程論文博士号取得  
2015～ 東京理科大学工学部建築学科教授

\*日本建築構造技術者協会(建築構造士)日本建築学会、日本免震構造協会(株)ERI・耐震判定委員会委員(公財)東京都防災建築まちづくりセンター(耐震改修計画評定委員会委員)